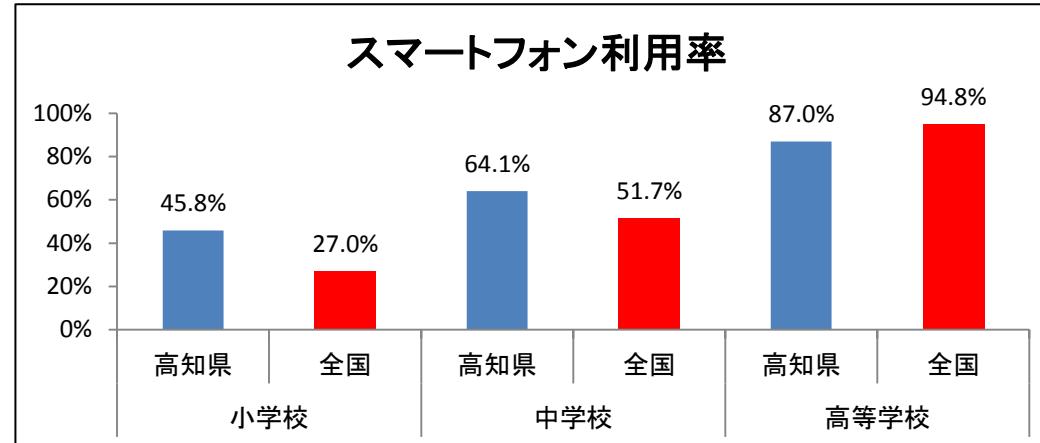
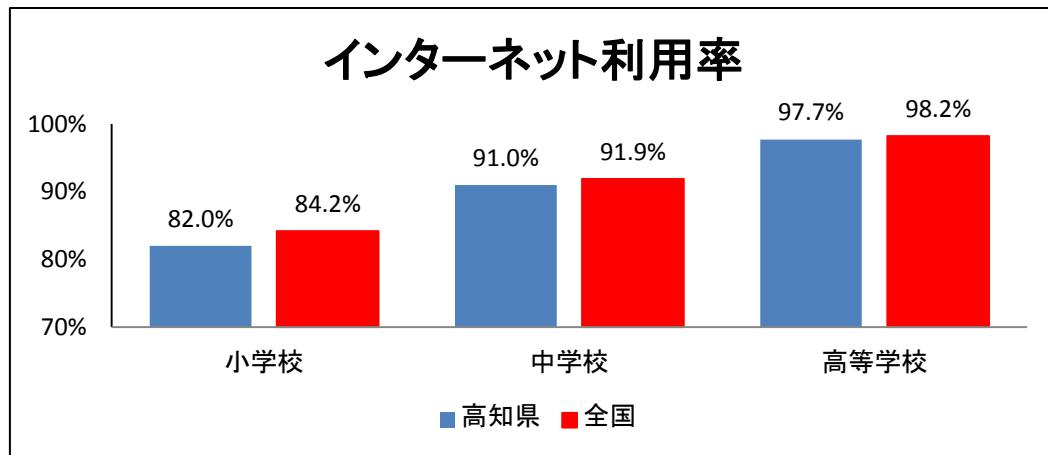
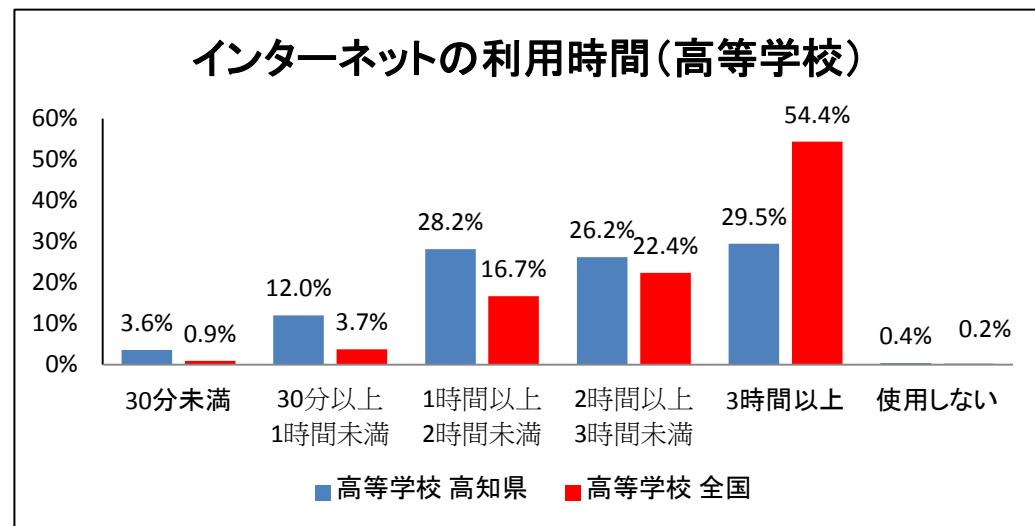
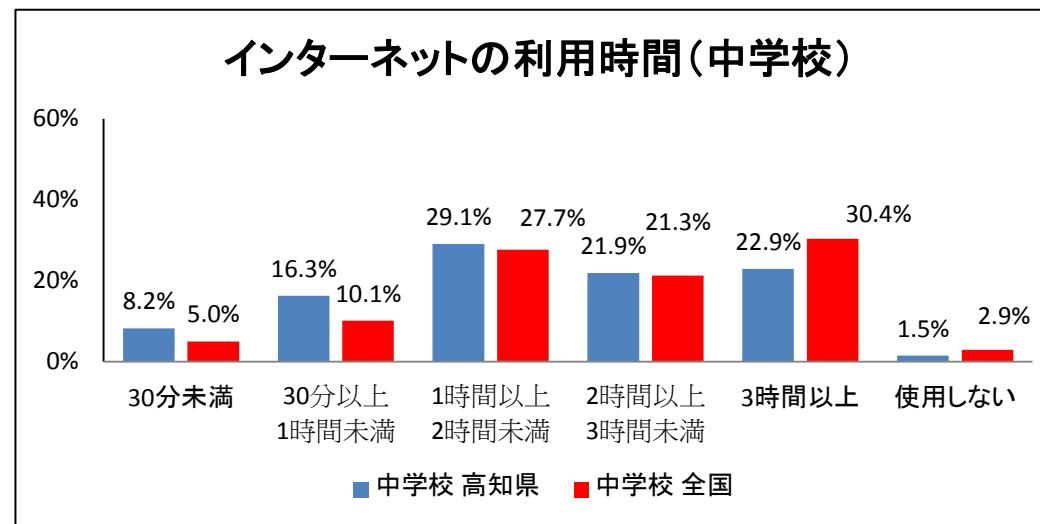
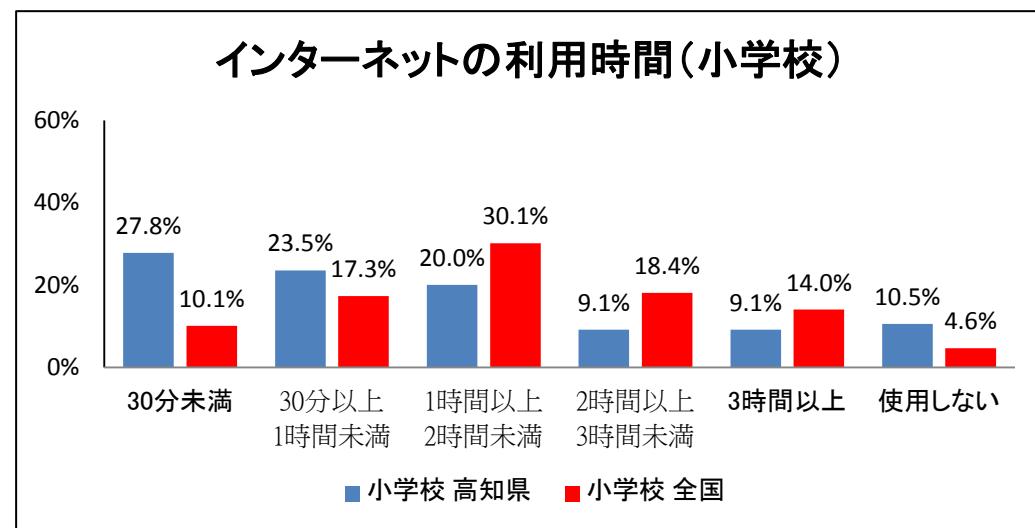


1 現状

(1) インターネット・スマートフォン利用率及びインターネットの利用時間（高知県・全国）



※高知県→学校以外の利用について
※全国→特に限定なし



□高知県のインターネット利用率については、全国と比べ低いものの、スマートフォンの利用率については、高知県の小学生、中学生の方が全国に比べ高い

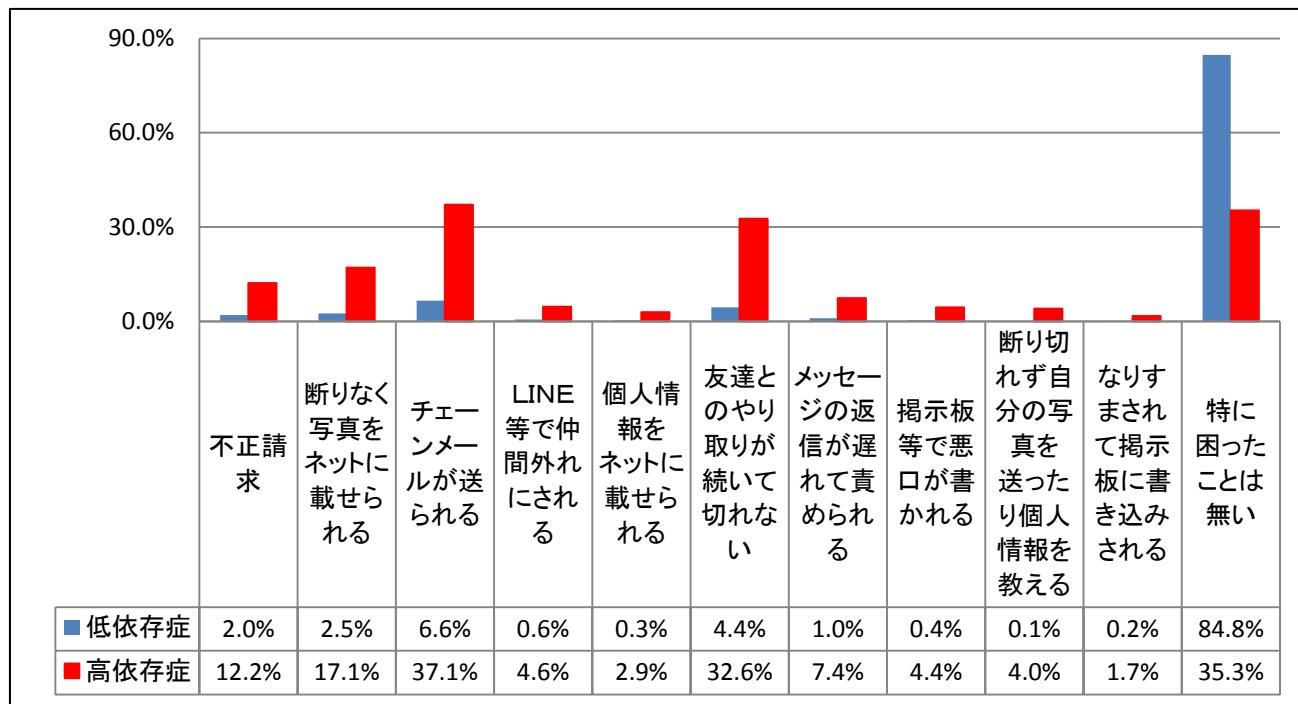
□高知県のインターネット利用時間については、全国と比べると短いものの、小学生から長時間利用している現状がある

□校種があがるにつれて、インターネットの長時間利用する割合が高くなる

調査①平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査, 内閣府, 平成29年3月
対象 満10歳~満17歳までの青少年とその保護者

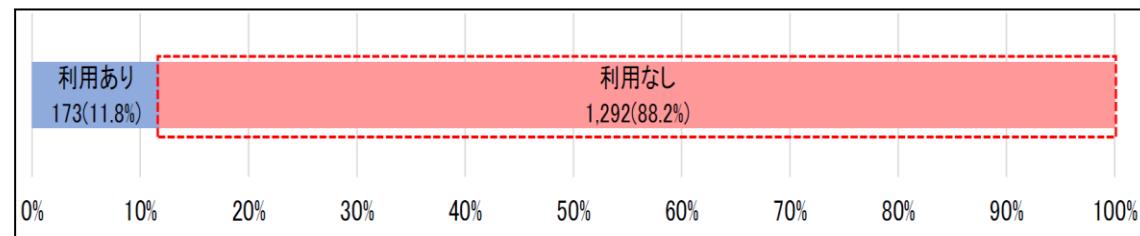
調査②平成28年度人権教育に関するアンケート, 高知県教育委員会事務局人権教育課, 平成28年10月
対象 小学校5年、中学校2年、高等学校2年児童生徒と青少年とその保護者

(2) インターネットの依存傾向と被害経験



子供の携帯電話やインターネット利用について、警視庁、平成28年5月を参照して作成

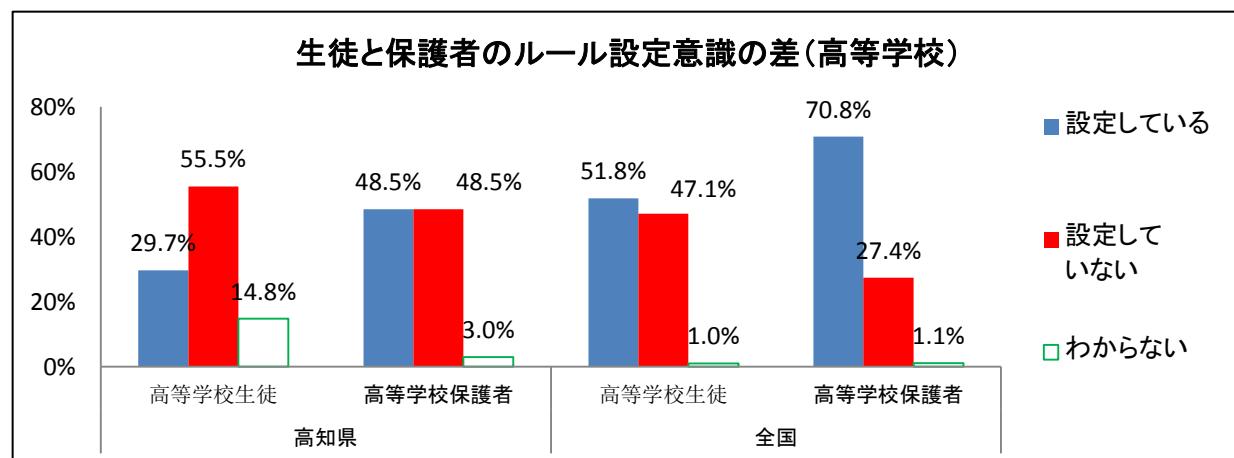
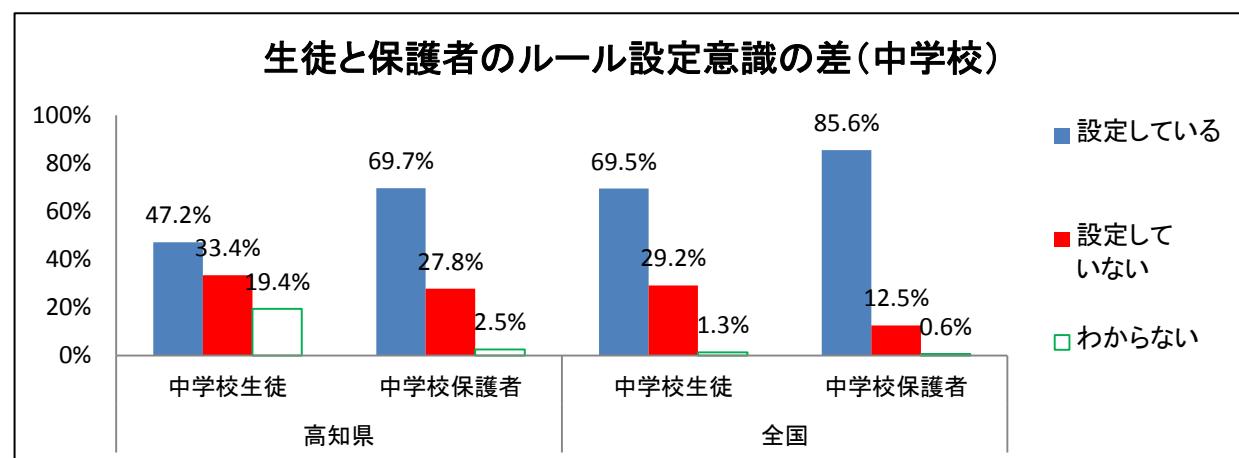
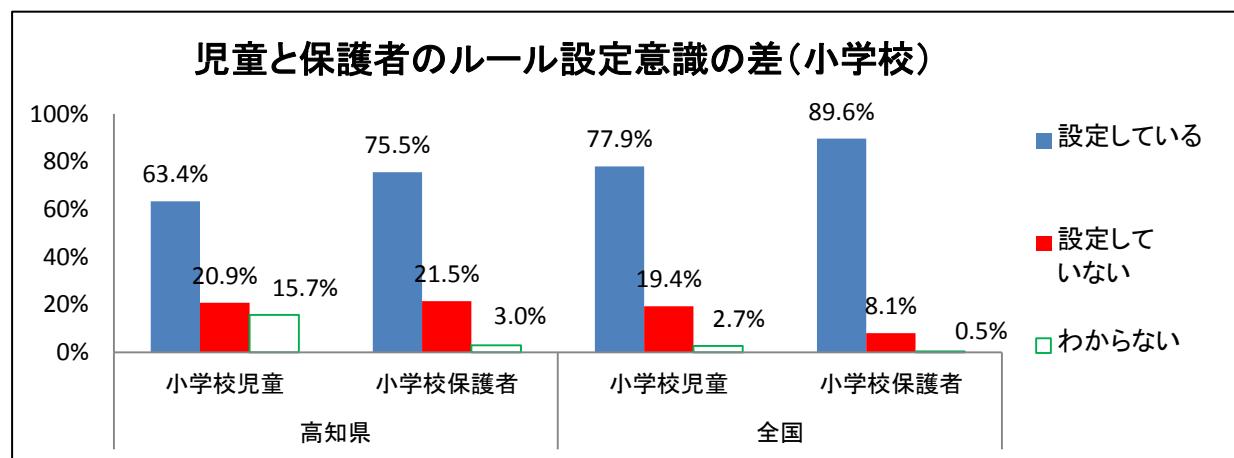
(3) 被害経験とフィルタリング設定の有無



平成28年におけるコミュニティサイト等に起因する事犯の現状と対策について、警察庁、平成29年4月
※被害にあった子どものうち、88.2%の子どもがフィルタリングを利用していなかった

- インターネットを利用して何らかの被害にあう経験は、依存傾向の高い児童生徒の方が多い
- 依存傾向の高い児童生徒は友達とのやり取りを終わる事ができない
- フィルタリングを設定していない児童生徒の方が被害に遭う確率が高くなる

(4) 児童生徒と保護者のルール設定の意識の差



- インターネットを利用する際のルールを決めている児童生徒及び保護者の割合は、高知県は全国と比べて低い
- 校種があがるにつれてインターネットを利用する際のルール設定率が低くなる
- インターネットを利用する上での家庭のルール設定について、設定しているかどうか、児童生徒と保護者の認識に差が見られる

調査①平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査、内閣府、平成29年3月
対象 満10歳～満17歳までの青少年とその保護者
調査②平成28年度人権教育に関するアンケート、高知県教育委員会事務局人権教育課、平成28年10月
対象 小学校5年、中学校2年、高等学校2年児童生徒と青少年とその保護者